



令和7年度 公開教育研究会

◆後援◆ 富山県教育委員会、富山県特別支援教育研究会
富山県特別支援教育知的障害教育研究協議会
日本教育公務員弘済会富山支部

研究テーマ(二年次)

ウェルビーイングを実現する学校づくり

～子どもたちのウェルビーイングを実現していくための授業づくり～

文部科学省が策定した「第4期教育振興基本計画」では、日本社会に根差した「調和と協調」に基づくウェルビーイングを、教育を通じて向上させていくことの重要性が明記されています。特に、これからの社会を生きる児童生徒や教師にとって、ウェルビーイングは極めて重要なキーワードであり、子どもたちのウェルビーイングを高めるためには、教師をはじめとする学校全体のウェルビーイングが不可欠であるとされています。

昨年度は、教育振興基本計画で示された16の目標を参考に、3つのテーマを設定し、教職員が自ら研究したいテーマを選び、授業や事例検討等を通して研究実践に取り組みました。実現したい子どものウェルビーイングな姿を明確化して実践を進めることで、子どもたちのウェルビーイングにつながる成果を得ることができました。

研究2年次にあたる本年度は、2つの目的を設定しました。目的Ⅰは、「子どもを中心に置いたウェルビーイングな授業づくり」とし、教育振興基本計画の目標の中から、さらに4つの目標を設定し、それぞれの目標に向けて、子どものウェルビーイングを高めるための目標、学習内容の設定や支援の有り方の工夫を模索しながら授業づくりに取り組んでいます。目的Ⅱは、「教員のウェルビーイングの向上」について取り組んでいます。

●日時、場所、参加費

2025(令和7)年 12/19(金) 9:30-15:50

場 所 富山大学教育学部附属特別支援学校

◆資料代:500円

◆昼食:各自でご準備ください

※富山県特別支援教育知的障害教育研究協議会の会員は無料

●申込方法



- ・左の二次元コードから、必要事項を入力し、申込をしてください。
- ・申込が確認できましたら「参加申込確認メール」を送信させていただきます。
- ・参加人数に制限はありません。

申込受付期限 12月4日(木)

●交通案内

◆自家用車の場合

附属小・中学校側から入り、グラウンドに駐車してください。

◆富山駅より

【タクシー】

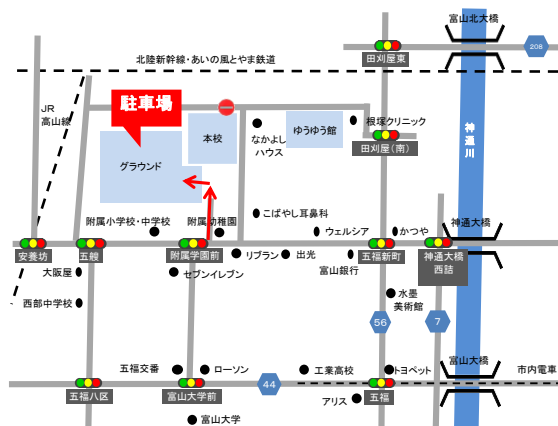
10分 約1000円

【バス】

富山駅7番乗り場

新桜谷行 附属学園前 下車

約10分 240円



＜受付＞
9:00～9:30

＜全体会＞
9:30～10:10

開会・校長挨拶・来賓あいさつ・研究概要説明

＜公開授業＞ 10:30～11:20 ※参観する授業を 申込時に選択し ていただきます。	学 部	単 元 名 ・ 題 材 名	授業者
	小学部	自立活動「友達と一緒に活動しよう」 (目標2, 6) 豊かな心の育成、主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成	遠北 佳奈子
	中学部	総合的な学習の時間「世界の文化を発見しよう」 (目標9) 学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域教育力の向上	長内 拓磨
	高等部	情報「プレゼンテーションをしよう」 (目標1) 確かな学力の育成、幅広い知識と教養・専門的能力・職業実践力の育成	紺 恵

＜ポスター発表＞
11:30～12:10

※体育館にて、
すべてのポスター
を公開します。

目的Ⅰ：子どもを中心に置いたウェルビーイングな授業づくり

目標Ⅰ部会

確かな学力の育成、幅広い知識と教養・専門的能力・職業実践力の育成

a.国語(高等部)
单元名:聞いて書こう～連絡や注文を聞いてメモを取ろう～

b.生活単元学習(中学部)
单元名:修学旅行について調べて計画を立てよう

目標2, 6部会

豊かな心の育成、主体的に社会の形成に参画する態度の育成・規範意識の醸成

a.生活単元学習(小学部)
单元名:友達と一緒にゲームをしよう

b.自立活動(小学部)
单元名:「ふわふわことば」名人になろう

目標9部会

学校・家庭・地域の連携・協働の推進による地域教育力の向上

a.特別活動(委員会活動)
单元名:全校児童生徒のために自分ができようことを考えよう

b.日常生活の指導(高等部)
单元名:余暇活動を深めよう

目的Ⅱ：教員のウェルビーイング向上

a.生成AIによる成績評価文作成を支援するプロンプト集の開発と活用

＜分科会＞
13:10～14:20

※申込時に選択して
いただいた授業の
分科会に参加して
いただきます。

公開授業を受け、学部ごとの授業研究「学びあいの場」を行います。「学びあいの場」では、「子どもの主体的な学びを目指す」、「子どもの視点で見る」、「聴き合う」の3つの視点を大切にしています。学びあいの場のプロセスにより、子供の姿の事実に基づき、目標に向かう子供の学び方を尊重した授業づくりを目指します。また、聴き合える授業研究を通して、授業者に寄り添い、各教員の「他者を認め」、「聴き合える雰囲気をつくり」、「共に学ぼうとする姿勢」をご覧いただければと思います。

＜講演＞
14:30～15:40

演題 「ウェルビーイングと学びの未来
— 理論から授業づくりへ—」

高知大学教育学部
西村 健一 教授



＜閉会＞
15:40～15:50